



【おおせき けいこ さん】 新富  
●千歳市子育て総合支援センター（ちとせっこセンター）内で開設する「つどいの広場」を運営している市民活動団体「Link〜つなぐ」で代表を務める。

子育ての悩みなど、気軽に話しに来てください。



ペットボトルで作ったゾウのおもちゃ

人 の い る 風 景

SCENERY OF PEOPLE

大 関



KEIKO  
OZEKI

恵 子

さん

転 勤世帯の多いまち、千歳。子育ての悩みを一人で抱えている親も多いのではないのでしょうか。

千歳には、小学校就学前の子と親と一緒に遊べるだけでなく、親同士で子育ての悩みを共有することができるところがあります。その一つが、ちとせっこセンター内で開設する「つどいの広場」です。

ここでは、ペットボトルなどを一つ一つおもちやづくりや、親子と一緒に歌を覚えることで、親子で子どものかかわり方を学び、親として成長してもらおうことも目指しています。

広場を運営しているのは、市民活動団体「Link〜つなぐ」です。

「親と子、親同士、子ども同士など、ここでたくさんつながりが生まれてほしいと、願いを込めてLinkを結成しました」と話すのは、代表を務める大関さんです。

大関さんは、長年、幼稚園の先生を務めてきたことから、これまで多くの子どもとかわってきました。「広場にきてくれる子どもたちと一緒にいる時間が、本当に楽しい」と話す大関さん。同時にお母さんとかかわる時間も大切にしています。

「初めて利用してくれるお母さんは、とても緊張しています。少しでもその緊張をほぐしてあげたいと思います。『どうやって来たの？出身はどこ？』などと、できるだけたくさん話しかけています。帰るときに

は、『利用してくれてありがとう。またぜひ来てください』と声を掛けます。あるとき『今日も楽しかったです』と言ってくれたお母さんがいました。本当にうれしかったですね」と笑顔で話します。

「子育ては、ちょっとしたことでも悩み、それがストレスになってしまいます。ここで、私たちが利用してくれる皆さんと悩みなどを気軽に話して、少しでもリフレッシュしてほしいですね」。

「『つどいの広場に来ると元気になる、子どもも楽しそう』こんな言葉を言ってもらえるような場所を、これからは作っていきたいです」と最後まで素敵な笑顔で、これからの抱負を語ってくれました。